

# 私たちの未来を、市民自身で作っていくための新しい仕組み ソーシャル・ジャスティス基金 設立

認定NPOまちぽっと 事務局 奥田裕之

「新しい公共」という言葉が使われるようになり、様々な社会サービスをNPOが提供する流れが進みつつあります。しかしサービスの提供に留まり、市民の意見を社会に反映させ、納得できる仕組みを創っていく動きは充分ではありません。「認定NPOまちぽっと」では、市民自身が希望の持てる未来を議論し、実現することを目標にした日本初の社会変革型の市民ファンド「ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)」を2011年11月17日に立ち上げました。

## ■ SJFを生んだ社会背景

今の日本は、社会生活を営むための基本となる「共有する社会の公正さ」が見失われつつあります。その結果、個人生活や社会に閉塞感が漂い、未来への「理想」や「希望」を持ちにくくなっているのではないのでしょうか。さらに東日本大震災と原子力発電所の事故以降は、社会的公正や安心な社会の復興を市民自身の手によって実現する必要性が、これまでになく高まりました。

「社会的公正の実現」を目指し活動をしている団体は、日本にも数多く存在しています。それらは、不公正を軽減し社会的弱者の救済を着実にやってきました。しかし多大な努力と比較すると、社会への影響力は充分でない面もありました。その理由の一つは、今の日本は「現場で行う活動」にほとんどの資金が廻る状況であるため、社会提案型(アドボカシー)の市民事業には資金が集まらないこと

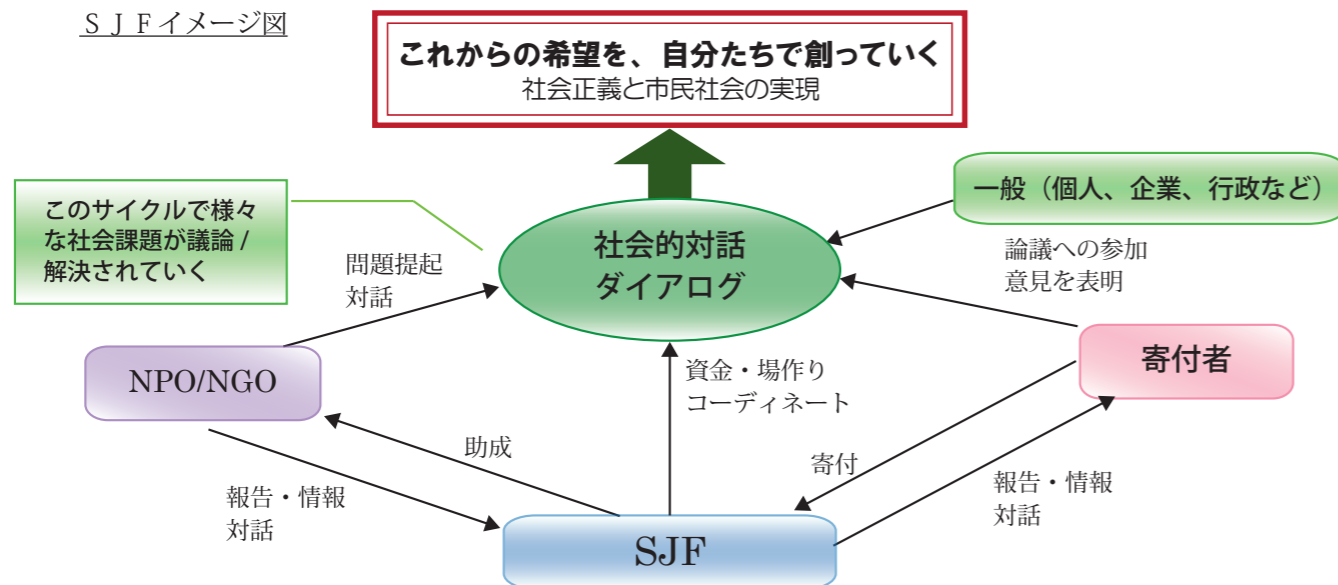
です。これは、団体のみならず社会的な不利益だと考えています。

一方で社会提案型団体の多くは、固有のテーマで「このように社会を変えたい」というメッセージと具体的な改善策を持っています。SJFでは、そこに普通の市民が参加して議論を交わし合いながら納得できる市民意見を作り、それを実現することも同等に重要だと考えています。

## ■ SJFの3つの事業

- SJFは、以下の活動を行う市民ファンドです。
- ①「社会の仕組みを変える活動を行っているNPOやNGOを対象にした助成事業」を
  - ②「税優遇制度を活用して、市民等から受けた寄付(募金)」を財源に行い
  - ③「助成先団体の訴える社会テーマへの議論に寄付者等が参加し、市民意見を形成」する。

SJFイメージ図



## ★助成事業

社会提案活動をしている団体へ助成を行います。助成先の対象分野は討議中ですが、社会的な不公正を改善する仕組み・制度作りを行う団体や、市民による社会自治の仕組み・制度作りを行う団体などを想定しています。

- 例えば、こんな事業に助成したいと思っています。
- ・ 子どもたちへの原発事故の被曝を最小限に抑えるための、社会ルールを作る活動
  - ・ 日本に逃げてきた難民の方を、人権的に保障する制度を作る活動
  - ・ 市民が知る権利をきちんと保障する、情報公開の活動 など

## ★ファンドレイズ(募金)事業

SJFは、認定NPOまちぽっとが持つ「認定NPO法人制度」の税優遇制度を活かして未来へ「投資」する基金です。SJFの寄付には、所得税および住民税の優遇、遺産や遺贈の課税措置の優遇、企業の損金算入枠の拡大などのメリットがあります。私たちは、身内だけではなく広く次の世代の子どもたちに希望をつなぐ、新しい寄付の仕組みを作りたいと考えています。

## ★社会的対話(ダイアログ)事業

社会提案を行う活動は単に団体が自身のメッセージを社会に訴えかけるだけでは不十分であり、対立する意見も含めた対話を広く行って多くが納得できる市民意見を創り出した上で、本当に社会を変えることが重要だと考えています。そのため助成団体には、「社会的対話(ダイアログ)」を行って寄付者や広く社会との間で意見交換することを選考の条件とさせていただきます、そのコストにも助成を行う予定です。

■ 2012年度は実験助成と、そのための寄付募集を行います

SJFは大きなスポンサーを持たない、市民からの寄付を中心とした活動を目指しています。しかし新しい活動であるため、当初は多くの皆さまが理解しにくいことが予想されます。そこで、2012年度はSJFが考える「社会正義」を目的に活動している団体を対象に、実験的な助成を行う予定です。そこでは、認定NPOまちぽっとの自己財源に加えて一般の寄付を募り、広く社会に対して新しい仕組みを作る運動として働きかけたいと考えています。その後も寄付募集を行い、2013年の本格スタートを目指します。

認定NPOまちぽっとのもう一つの助成事業である「草の根市民基金・ぐらん」の助成対象が地域や生活という身近なテーマで活動する団体であることに対して、SJFの助成対象は社会の仕組みを変える団体であることが大きく違います。そのため、SJFでは遺産や遺贈などの大口のご寄付も呼びかけ、ある程度の規模感を持った市民ファンドを目指しています。

SJFは、普通の市民団体が始めるにはかなり冒険的な取り組みです。しかし、行政や企業セクターではなく市民社会がこれからの日本をリードしていくためには、普通の市民が社会の仕組みそのものを創っていく必要があります。そのため、ぜひたくさんの方と一緒にこの新しい取り組みを成功させたいと考えています。SJFの活動にご関心を持たれた皆さまからのご連絡をお待ちしています。

### 【お問合せ】

認定NPOまちぽっと  
新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル5F  
E-mail: info@socialjustice.jp Tel: 03-5941-7948  
ホームページ: <http://socialjustice.jp>  
フェイスブック: [www.facebook.com/socialjusticefundjp](http://www.facebook.com/socialjusticefundjp)

ソーシャル・ジャスティス基金は、いつも考えています。  
社会的弱者のこと、社会的不公正のこと、日本の将来のこと...  
なんとかしたい。そのためにみんなと話したい。  
話しあって、より良い社会、より良い日本を創っていきたい。  
だから私たちは応援します。  
より良い社会を創るためにがんばっている人たちを。

